



弘前医療福祉大学紀要

*Journal of Hirosaki University
of
Health and Welfare*

第3巻 第1号
2012年3月発行

弘前医療福祉大紀要
J. Hirosaki Univ. Health Welf.

弘前医療福祉大学紀要編集委員会

目 次

[総 説]	松果体研究史、考察と発展	
	1. 1954 年まで	
	加地 隆	1
[総 説]	松果体研究史、考察と発展	
	2. 1954 年から 1969 年まで	
	加地 隆	9
[原 著]	ラフォラ病の脳病理：形成途上期ラフォラ小体の微細構造変化	
	吉村 教暁	19
[原 著]	青森県民の心の健康問題の認識と精神障害者に対する社会的態度に関する研究	
	板山 稔、高田絵理子、田中 留伊	33
[原 著]	直営型地域包括支援センターに勤務する社会福祉士のネットワーク構築に関する認識	
	寺田富二子、大沼 由香、中村 直樹、小池 妙子	43
[原 著]	青森県の集団検診における水銀血圧計と電子血圧計による血圧測定値の末尾の数字の比較	
	第 1 報 地域的特徴の解析	
	竹森 幸一、三上 聖治、仁平 将、浅田 豊、富田 恵	53
[原 著]	青森県の集団検診における水銀血圧計と電子血圧計による血圧測定値の末尾の数字の比較	
	第 2 報 測定時の心理状況の検討	
	浅田 豊、竹森 幸一、三上 聖治、仁平 将、富田 恵	61
[原 著]	医療福祉系学生の日常生活技術の習得度に関する研究	
	一タオルの絞り方、箸の持ち方・使い方	
	北林 司、藤原 健一、板垣喜代子、山口かおる、戸来 陸雄	67
[研究報告]	青森県中津軽地区における子宮頸がんおよびヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン についての意識調査	
	神菌 洋子、斎藤 亮子、小玉 有子、伊藤 久子	75
[実践報告]	アフガニスタンにおける感染症の現状と医療体制	
	矢嶋 和江	85
[短 報]	思春期教室を開催して	
	神菌 洋子	95
	紀要規程・投稿要項	101
	編集後記	
	紀要編集委員会委員	

弘前医療福祉大学紀要規程

(目的)

第1条 弘前医療福祉大学紀要(以下「紀要」という。)は、弘前医療福祉大学(以下「本学」という。)における研究成果発表を目的として、定期的に刊行する。

(発刊)

第2条 紀要の発刊は原則として年1回とし、本学紀要編集委員会(以下「委員会」という。)がその任にあたる。

2 紀要は、発刊前年度の10月1日から発刊年度の9月30日までに投稿された論文を一号として刊行する。

3 発刊期日は原則として発刊年度の末日までとする。

(投稿資格者)

第3条 紀要への投稿資格者は、次のとおりとする。

- 1) 本学専任教員
- 2) 第一号の共同研究者
- 3) その他紀要委員会が適切と認めた者

(受付・査読・採否)

第4条 投稿原稿は他誌に未掲載で且つ投稿中ではない論文に限る。

2 投稿原稿は各学科の編集委員を経て随時受け付けられ、同委員会は預かり証を発行する。

3 預かった論文のうち短報以外はすべて第三者に査読される。査読後、委員会は投稿論文の体裁及び内容について修正を求めることがある。

4 論文の採否は編集委員会において決定され、その結果は書面で通知される。

(著作権)

第5条 掲載論文の著作権は弘前医療福祉大学に属し、論文の電子化は了承されたものとする。

(経費負担)

第6条 投稿原稿が規定の枚数を超過した分については、著者の負担とする。

2 初校の際には別刷の必要部数を委員会に申告するものとする。

3 別刷は10部まで共通経費負担とし、それを越えた分は著者負担とする。

(倫理的配慮)

第7条 投稿論文は、倫理的配慮がなされ、且つその旨が本文中に明記されていなければならない。

(その他)

第8条 論文の投稿要項に関しては、紀要編集委員会が別に定める。

附則 本規程は2009年7月16日から施行する。

弘前医療福祉大学紀要投稿要項

1. 投稿論文

投稿論文は他誌に未掲載で且つ投稿中ではない和文及び英文の総説、論説、原著、研究報告、研究ノート、短報、その他とし、随時受け付ける。

2. 論文の種類

他誌に未掲載で投稿中ではない以下①-⑦の論文を受け付ける。

尚、①-⑤は査読があり、⑥⑦は査読なしとする。

- ① 総説：ある主題に関連した研究の解説、総括
- ② 論説：主題に関する理論の構築、展望、提言
- ③ 原著：独創的な研究により、新しい知見、理論を示した論文
- ④ 研究報告：研究上の問題提起、興味深い事実や実態・事例・症例に関する論文
- ⑤ 研究ノート：論文としては未整理であるが、すぐに知らせる意義のある研究
- ⑥ 短報：教育実践報告、研修報告、国際学会、セミナー報告
- ⑦ その他：委員会が必要と認めたもの

3. 投稿資格者

- 1) 本学専任教員
- 2) 1) の共同研究者
- 3) その他 委員会が適切と認めた者

4. 倫理的配慮

人および動物を対象にする研究では、倫理的に配慮し、その旨を本文中に明記する。

研究が適切に行われたことを示すため、「本研究は弘前医療福祉大学研究倫理規程に沿って行われた」、英語論文の場合は“The study was performed in accordance with the Rules for Ethics of Study, Hirosaki University of Health and Welfare.”と文中、または文末に明記する。

執筆・投稿要領

1. 原稿の構成と表記

- 1) 原稿はA4版、10ポイントで1枚につき40字（英字・数字は半角）×40行 横書きとする。

原著、研究報告、総説、論説は10枚（16000字）以内とし、研究ノート、短報、その他は5枚（8000字）以内とする。但し、図表1枚は800字（半枚）分に数えるものとする。欧文の場合にはA4版、ダブルスペースで1枚につき26行でタイプする。

欧文は必ずnative speakerによる校閲を受けたものであること。

- 2) 表紙には論文題名、著者名、所属および所在地（希望するならe-mail アドレスも）を和文と欧文の両方でそれぞれ明記する。さらに本文枚数（引用文献、要旨を含む）、図、表、写真、図表の説明文などの枚数を記載し、最後に論文の種類：「原著」（例）のように明記する。2枚目には400字以内の和文要旨とキーワード3-5語、3枚目には250語以内の英文要旨とkeywords 3-5語を記す。

- 3) 図表の使用は最小限にとどめ、「図1」、「表1」、「写真1」等 それぞれの通し番号をつけ、本文とは別に一括する。

これらの挿入希望場所を本文原稿右余白にそれぞれ指定する。図、表、写真については印刷時の大きさを明記する（例：原寸、70%、50%など）。

- 4) 外国の人名、地名に原語を用いるほか、叙述中の外国語にはできるだけ訳語をつける。
- 5) 注は脚注として最小限にとどめる。

2. 文献記載の様式

- 1) 引用文献は、本文の引用箇所の肩に1)-3)と表し、最後に一括して引用順に掲げる。
- 2) 参考文献は、最後に一括して著者名のアルファベット順に記載する。

3) 引用・参考文献の記載方法・順序

〈雑誌〉著者名：表題名. 雑誌名. 巻(号)：頁-頁, 発行年

〈単行本〉著者名：論文題名. 書名(版表示). 編者名. 頁-頁. 発行地：出版社. 発行年

〈訳本〉著者名：論文題名. 書名(版表示). 編者名. 訳者名. 頁-頁. 発行地：出版社. 発行年

3. 投稿の際の提出書類

1) 原稿：表紙、和文要旨、英文要旨、本文、図表

(総説・論説・原著・研究報告・研究ノート・短報 ともに1部、査読を要するものについてはコピーを2部提出する)

2) 紀要原稿提出表(大学共有ファイル内)：連絡先(氏名、住所、電話番号、メールアドレス)と別刷希望部数を記入する。

3) フロッピーディスクまたはCD(1枚)；ソフトはワードとし、ファイル名を「本文」「和文要旨」「英文要旨」「図1」などとする。但し、提出は論文受理後とする。

4. その他

1) 著者校正は原則として一校までとする。校正時の大幅な追加、修正は原則として認めない。

2) 別刷は10部まで共通経費による負担とする。

編集後記

弘前医療福祉大学紀要編集委員会
委員長 吉村教暉

ここに本学紀要第三巻をお届けします。掲載論文の内訳は総説2、原著6、研究報告1、実践報告1、短報1の計11編です。平常の教育に加え、外部施設での実習指導などで後学期はとくに多忙の中、平素の研究を論文にして投稿された本学教員の皆さんに感謝します。同時に、それに協力してくれた教職員の皆さんにも御礼申し上げます。

昨年の3.11から丁度1年になります。遅ればせながら被災地の皆様には震災とその後の御難儀に衷心よりお見舞い申し上げます。本学からも被災地の復興支援やその指導等に何度も出向いている教員がいると聞いております。

東日本大震災はこの時代に医療福祉系大学の教員としての私達に医療の原点をさし示しているように感じます：科学は不可欠な真の知識であり、技術は欠くことのできない救命の為の偉大な力である。これらは人間愛の心を持つ人の手で運用される時初めて、病める人（弱者）が幸せを感じるのだと。でも現代社会においてはもう一つ不可欠なものがあります。それは行政の支援であり英断です。

新年度から完成年次にはいり、1年後には本学最初の卒業生、国試合格者が誕生します。本学での研究に裏付けされた教育によって、ケア医療を通して地域社会に幅広く貢献できる有能な卒業生の誕生が期待されます。

調和のとれた教育と研究を両輪としてその相乗効果を上げるうえでも、また独自の施設での教育研究成果を上げる上でも、つまりは人材育成とその継続輩出のために本学には共同実験室の整備が待たれるところです。

本学で、本学教員により、医療・福祉の研究が益々活発に展開され、それが本学の末長い発展に繋がる日の来ることを念じつつ、紀要編集委員会は常時原稿を受け付けております。各位の力作をお待ちしています。

弘前医療福祉大学
紀要編集委員会

委員長 吉村教暉
副委員長 三浦秀春
委員 小山睦美
委員 富田 恵

Journal of Hirosaki University of Health and Welfare

弘前医療福祉大学紀要

第3巻 第1号

平成24年3月30日発行

編集・発行 〒036-8102 弘前市小比内3-18-1
弘前医療福祉大学内 紀要編集委員会
TEL：0172-27-1001

印刷所 〒036-8061 弘前市神田4-4-5
やまと印刷株式会社
TEL：0172-34-4111 FAX：0172-36-3299

Contents

[Review]

Pineal Research History, Discussion and Development

1. Until 1954

Takashi Kachi 1

[Review]

Pineal Research History, Discussion and Development

2. From 1954 to 1969

Takashi Kachi 9

[Original]

Brain pathology of Lafora disease : fine structural changes of Lafora (polyglucosan) bodies in the developing phase of the formation

Noriaki Yoshimura 19

[Original]

Aomori Prefecture residents' perception of mental health problems and social attitudes toward psychiatric patients

Minoru Itayama, Eriko Takada, Rui Tanaka 33

[Original]

Recognition about network building of the social worker who works at the direct management type area inclusion support center

Fujiko Terada, Yuka Oonuma, Naoki Nakamura, Taeko Koike 43

[Original]

The comparison of terminal digit preference in blood pressure readings which was measured with mercury sphygmomanometer and electronic sphygmomanometer in mass examination in Aomori prefecture

Part 1: The analysis of regional characteristics

Koichi Takemori, Seiji Mikami, Susumu Nihira, Yutaka Asada, Megumi Tomita 53

[Original]

The comparison of terminal digit preference in blood pressure readings which was measured with mercury sphygmomanometer and electronic sphygmomanometer in mass examination in Aomori prefecture

Part 2: The analysis of state of mind under the measurement

Yutaka Asada, Koichi Takemori, Seiji Mikami, Susumu Nihira, Megumi Tomita 61

[Original]

A study of skills necessary for the daily lives of students studying in the medical and welfare curriculum

—How to wring out towels. How to hold and use chopsticks—

Tsukasa Kitabayashi, Kenichi Fujiwara, Kiyoko Itagaki, Kaoru Yamaguchi, Mutsuo Herai 67

[Report]

Attitudes regarding uterine cervical cancer and the human papillomavirus (HPV) vaccine

~ Results of a survey conducted in the Chunan-Tsugaru district of Aomori Prefecture ~

Yoko Kamizono, Ryoko Saitou, Ariko Kodama, Hisako Ito 75

[Practice Report]

The present state of affairs of infectious diseases and the medical system in Afghanistan

Kazue Yajima 85

[Short Report]

Pubertal Lesson

Yoko Kamizono 95